

## 5～8カ月児の事故予防



※ 赤ちゃんから目を離しても大丈夫な環境を作りましょう！  
寝返りからハイハイができるようになり、どんどん活動範囲が広がる時期です。

1. ベビーベッドの柵はいつも上げておく。ちょっと離れる間でも上げておく。  
テーブル、ソファ、大人のベッドなどには寝かさない。
2. 赤ちゃんを抱いたり、おぶったりするときは、周りに気をつける。  
家具、ドアや車の入り口にぶつけることがある。
3. 赤ちゃんのまわりに薬や小物を置かない。外出時も注意。  
赤ちゃんの口は最大32mm。  
たばこや灰皿は手の届かないところに置く。ジュースの缶を灰皿にしない。
4. 階段、玄関など段差のあるところには柵を取り付ける。
5. 自動車ではベビーシートに乗せる。軽い事故でも腕力では支えられない。
6. ドアのちょうつがい側に指が入らないようにカバーをしておく。  
ドアの開閉はゆっくり。風などで急に閉まらないようにしておく。
7. 入浴中の赤ちゃんから目を離さない。  
事故例) お座りで遊ばせていたが、電話に出た少しの間に溺れた。
8. 入浴後はお湯を抜いておく。入り口に施錠しておく。
9. 寝かせるときは、よだれかけのひもははずしておく。  
おもちゃやお守りのひもも要注意、なるべく使用しない。
10. 赤ちゃんを抱きながら、熱い物を食べたり飲んだりしない。  
熱い飲食物はテーブル中央に置く。テーブルクロスは使わない。  
赤ちゃんは皮膚が薄く、深いヤケドになりやすい。



**ハビネス こども クリニック**

お問い合わせは…

**087-848-9178**

